

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 図書館設備等更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111 (内 291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,229 千円 (前年度予算額：2,587 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,587	0	0	0	0	0	0	0	2,587
要求額	2,229	0	0	0	0	0	0	0	2,229
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県図書館は開館から25年が経過し、開館当初導入した設備等の耐用年数超過、経年劣化による故障等があり、さらに社会的ニーズの変化に対応した図書館サービスの円滑な提供のため、設備等を順次更新しなければならない。

(2) 事業内容

① レストラン厨房設備の更新

開館から25年間設置している経年劣化著しいレストラン厨房機器を更新し、開館時から美術館・図書館利用者に対して提供している喫茶サービスを安定的に供給できるようにする。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10 県の公用施設の物品等の更新であるため

(4) 類似事業の有無

有：図書館環境整備事業費

図書館の安全安心な環境の整備を実施する。

・エレベーター改修、大規模設備調査や営繕計画策定 等

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	2,129	レストラン厨房機器（冷蔵庫、冷蔵庫）
役務費	100	既設厨房機器処分費（フロンガス処分費）
合計	2,229	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

1. ひとを育む (2) 地域の未来を担う人づくり

○第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 目標1 「ふるさと岐阜」を学ぶふるさと教育の充実

基本方針3 目標1.3 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

(2) 後年度の財政負担

図書館サービスを継続するため、後年度以降、順次更新の必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県図書館は年間約54万人に利用され、県民の課題解決や生涯学習を支える社会教育施設であり、施設管理者として図書館サービスをの一部としてレストランを安全に円滑に行うための設備等を更新する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県図書館は年間約54万人に利用され、県民の課題解決や生涯学習を支える教育施設である。各設備等を更新することで、耐用年数超過・経年劣化等によるトラブルを解消し、さらに社会的ニーズの多様化に対応しながら、図書館サービスの向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	()	()	%

○指標を設定することができない場合の理由

図書館サービスを維持継続するための更新であり、指標は設定できない。

（前年度の取組）

図書館閲覧室内のしみ・汚破損が目立つソファ・椅子の布張替えを行った。

（前年度の成果）

しみ・汚破損が目立つソファ・椅子の布張替えを行い、利用者が快適に衛生上問題なく利用できるようになった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○ 開館から25年が経過しており、経年劣化による老朽化が著しく修繕等が必要な箇所、さらに社会的ニーズの多様化による備品等不足のため利用不便な箇所が多数ある。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>現在地に開館してから25年が経過し、今後ますます設備の老朽化が進むことが予想される。老朽化・経年劣化等によるトラブルを解消し、社会的ニーズの多様化に対応しながら、図書館サービスの円滑な提供するためには、計画的に物品の更新を実施していく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>県の中核図書館として、県民の課題解決や生涯学習を支える教育施設である。今後も図書館サービスを円滑に提供するため、毎年、更新計画を見直すとともに、計画的に更新を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	